



2023年3月期 決算説明会

FISCAL YEAR MARCH 2023 FINANCIAL RESULTS

2023年5月12日
マツダ株式会社



本日の説明内容

- 2023年3月期 実績
- 2024年3月期 見通し
- 5年間の取り組みの総括
- 2024年3月期 取り組みの方向性と課題

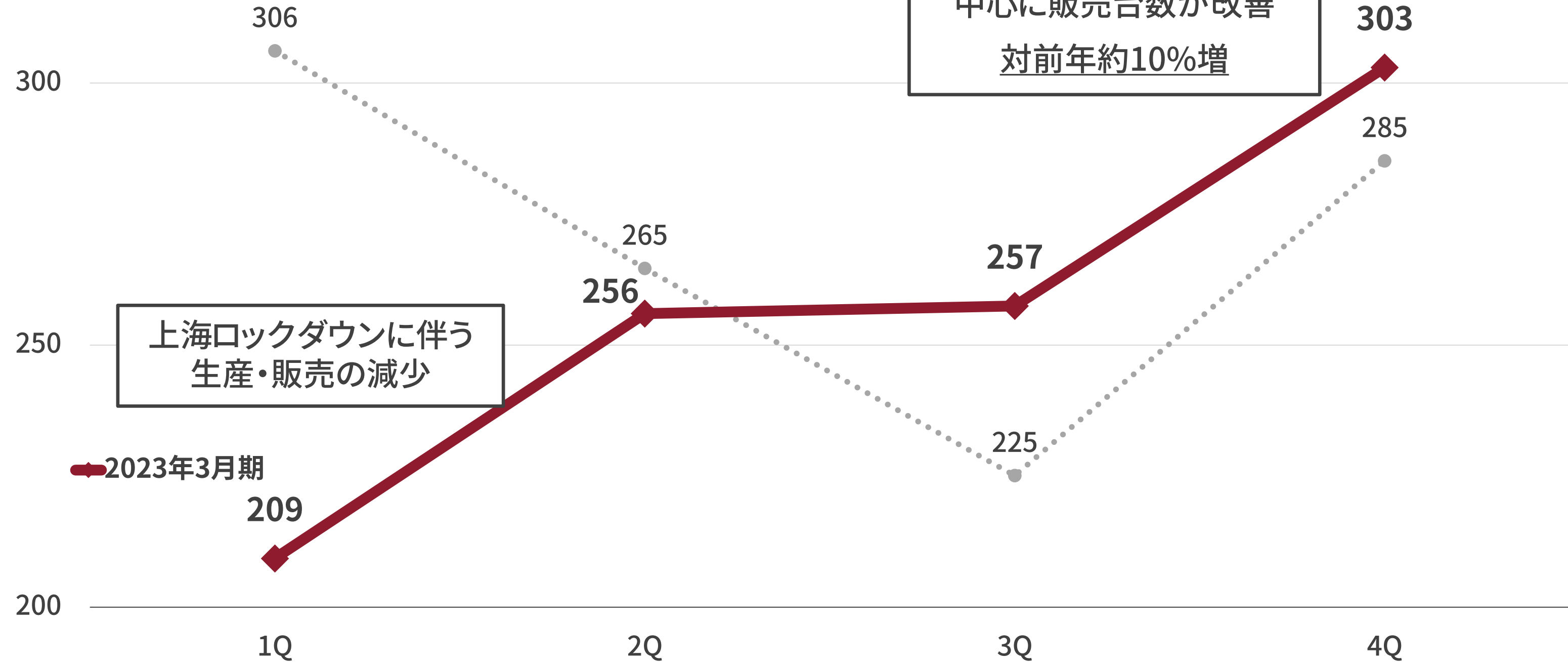
2023年3月期 実績

2023年3月期 通期 台数実績

(千台)	2023年3月期			対前年増減			
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
生産台数*	503	632	1,135	+37	✓ +74	+111	+11%
グローバル販売台数							
日本	68	97	165	+8	+8	+16	+11%
北米	181	226	407	-68	+35	-33	-7%
欧州	67	93	160	-40	+10	-30	-16%
その他市場	150	145	294	-7	-3	-9	-3%
小計(中国除く)	465	560	1,026	-105	✓ +50	-55	-5%
中国	49	35	84	-40	-45	-86	-50%
合計	514	596	✓ 1,110	-146	✓ +5	✓ -141	-11%
米国	133	168	301	-57	+26	-31	-9%
オーストラリア	44	47	91	-12	0	-12	-12%
ASEAN	46	33	78	+14	-14	0	0%

グローバル販売台数推移(中国除く)

(千台) ● 2022年3月期



上海ロックダウンに伴う
生産・販売の減少

下期は生産・在庫の回復に
伴い、好調な米国などを
中心に販売台数が改善
対前年約10%増

米国ディーラー在庫台数(千台)					
	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
22年3月期	54	21	12	7	13
23年3月期	13	4	12	24	29

Source: Autodata

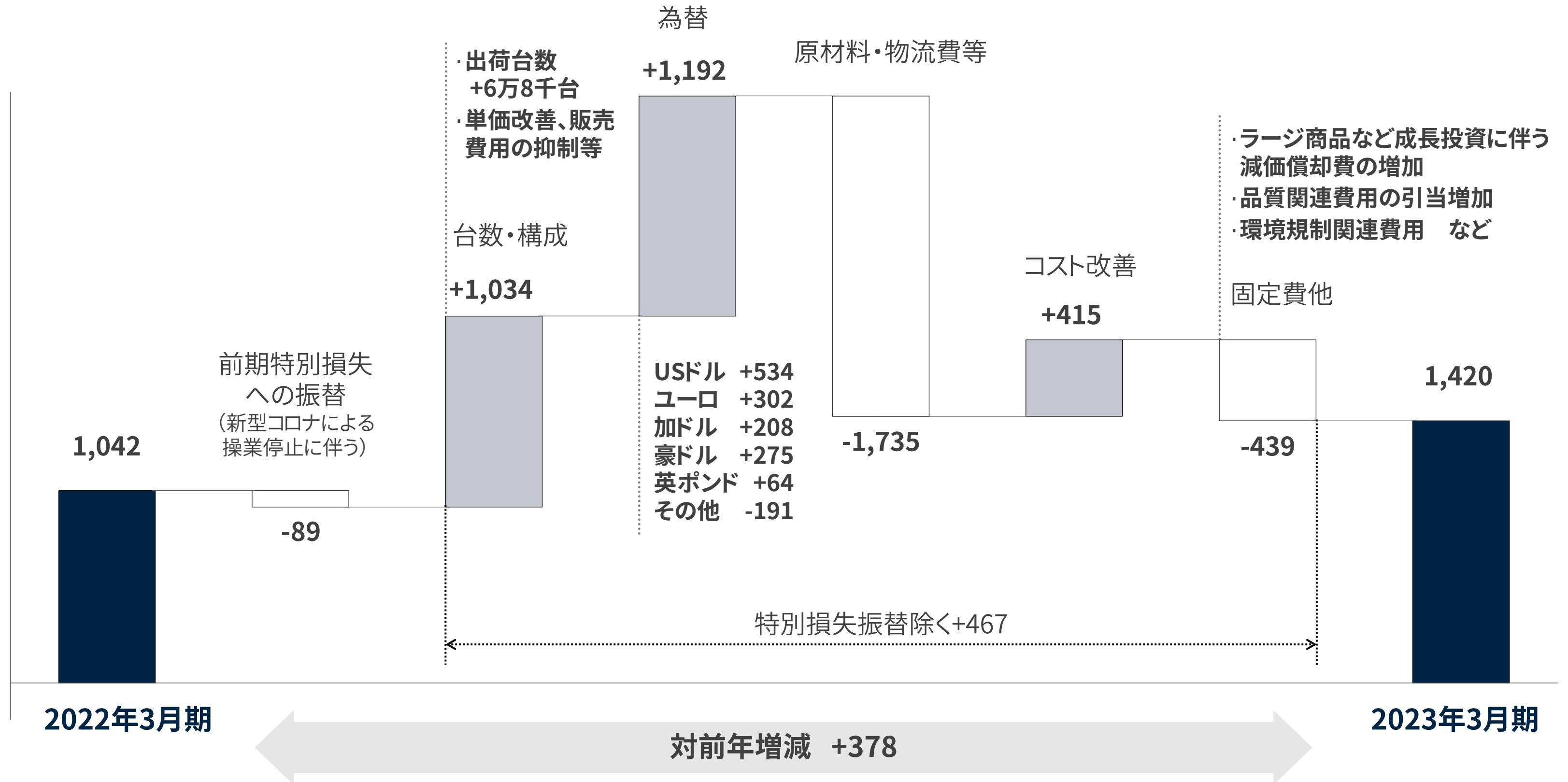
2023年3月期 通期 財務指標

(億円)	2023年3月期			対前年増減				対2月公表増減
	上期	下期	通期	上期	下期	通期		通期
連結出荷台数 (千台)	450	609	✓ 1,059	-30	+99	+68	+7%	-28
売上高	16,425	21,843	38,268	+1,466	+5,599	+7,065	+23%	-732
営業利益	552	868	✓ 1,420	+155	+223	+378	+36%	✓ -80
経常利益	1,104	755	1,859	+765	-141	+624	+51%	+109
税引前利益	1,093	607	1,700	+734	-158	+576	+51%	+100
当期純利益	859	569	✓ 1,428	+620	-8	+612	+75%	+28
売上高営業利益率	3.4 %	✓ 4.0 %	✓ 3.7 %	+0.7 pts	0 pts	+0.4 pts		-0.1 pts
EPS (円)	136.3	90.4	226.7	+98.4	-1.2	+97.2		+4.5
為替レート (円)								
USD	134	137	136	+24	+22	+23		+1
ユーロ	139	143	141	+8	+13	+10		+1

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を示す

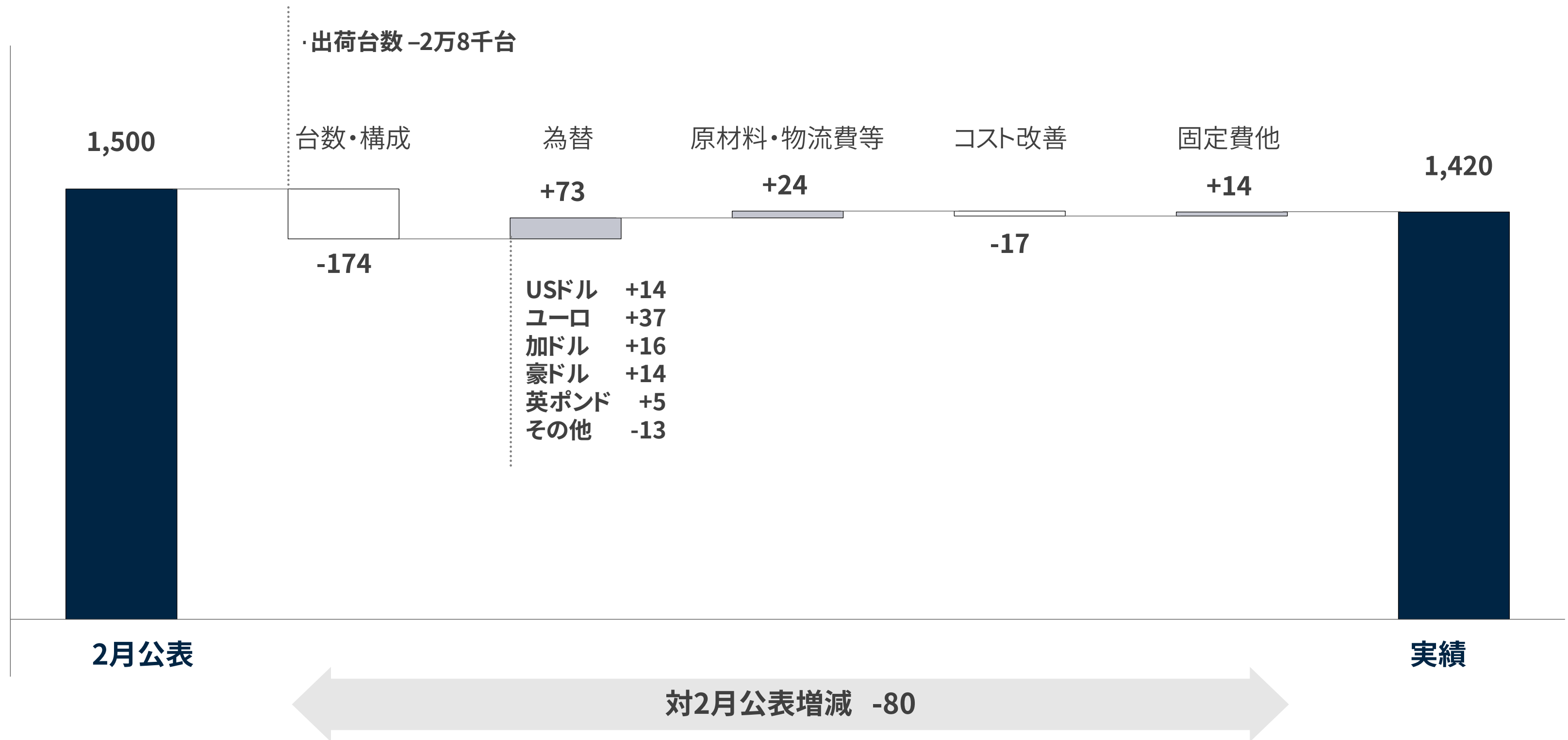
2023年3月期 通期 営業利益変動要因(対前年比較)

(億円)



2023年3月期 通期 営業利益変動要因(対2月公表比較)

(億円)



2024年3月期 見通し

2024年3月期 通期 台数見通し

(千台)	2023年3月期	2024年3月期	対前年増減	
	通期	通期	通期	
グローバル販売台数				
日本	165	183	+19	+11%
北米	407	496	+90	+22%
欧州	160	189	+29	+18%
その他市場	294	306	+12	+4%
小計(中国除く)	1,026	1,175	+149	+15%
中国	84	125	+41	+48%
合計	1,110	✓ 1,300	+190	+17%
米国	301	367	+66	+22%
オーストラリア	91	100	+8	+9%
ASEAN	78	80	+1	+2%

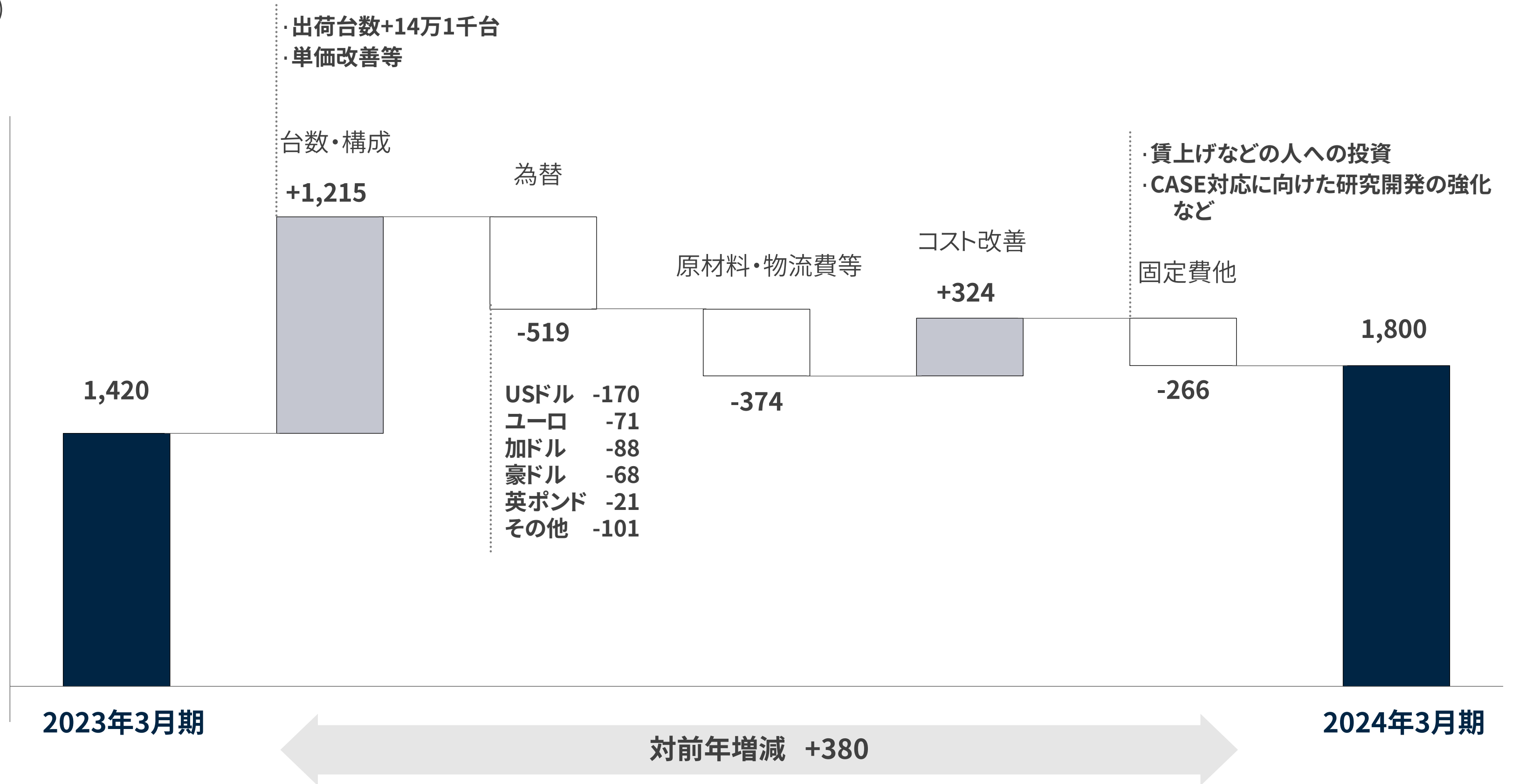
2024年3月期 通期 財務指標

(億円)	2023年3月期	2024年3月期	対前年増減	
	通期	通期	通期	
連結出荷台数 (千台)	1,059	✓ 1,200	+141	+13%
売上高	38,268	45,000	+6,732	+18%
営業利益	1,420	✓ 1,800	+380	✓ +27%
経常利益	1,859	1,720	-139	-7%
税引前利益	1,700	1,680	-20	-1%
当期純利益	1,428	✓ 1,300	-128	✓ -9%
売上高営業利益率	3.7 %	4.0 %	+0.3 pts	
EPS (円)	226.7	206.4	-20.3	
為替レート (円)				
USDドル	136	128	-7	
ユーロ	141	139	-2	

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を示す

2024年3月期 通期 営業利益変動要因(対前年比較)

(億円)



まとめ

■ 2023年3月期実績

- 対前年増収増益。売上高営業利益率は前年から0.4pts改善の3.7%
- 連結出荷台数の増加、単価改善・販売費用抑制などの取り組みに加え、為替の円安効果などにより原材料価格高騰の影響をオフセット

■ 2024年3月期の見通し

- 連結出荷台数 120万台、グローバル販売台数 130万台
売上高 4兆5,000億円、営業利益 1,800億円、当期純利益 1,300億円
- 売上高営業利益率は前年から0.3pts改善の4.0%の見通し

■ 配当

- 2023年3月期の期末配当予想は5円増配の25円、年間配当は45円
- 2024年3月期の年間配当は45円の見通し

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を示す

5年間の取り組みの総括

5年間の取り組みの総括

■ この5年間の環境変化

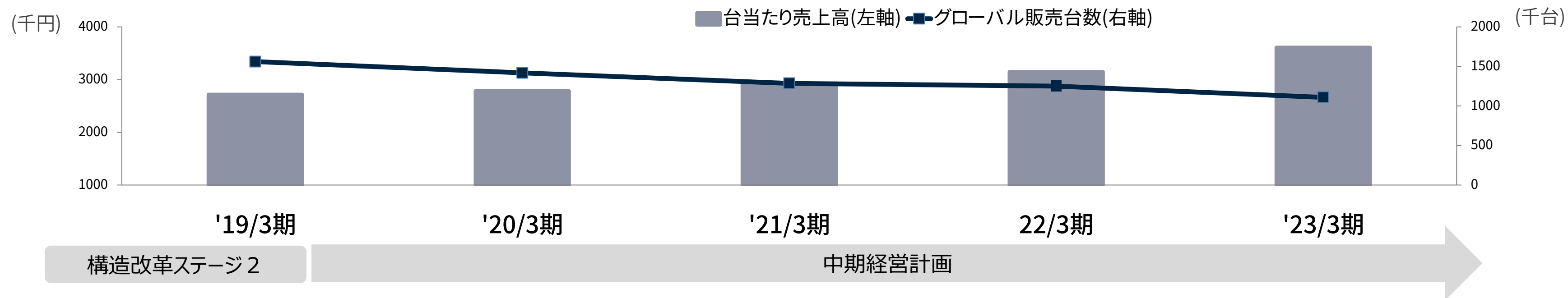
- 政治的混乱、不安定な為替相場、豪雨災害
- コロナ禍における急激な需要減少、資金繰り悪化
- 半導体不足による生産減
- コロナ禍以降に発生した原材料高と物流逼迫
- 企業の社会的責任に関する要求の高まり

■ ビジネスの質的改善と経営基盤強化

- 販売の質的改善
- モノ造り革新の進化
- 固定費/原価低減などによる経営効率化
- 損益分岐点台数100万台以下の目標を2022年3月期に前倒しで達成
- 将来成長に向けた着実な投資とパートナーシップの強化

5年間の取り組みの総括

■ グローバル販売台数と台当たり売上高*推移



【2019年3月期】

*連結出荷台数ベース

台当たり売上高*	2,719千円
グローバル販売台数	1,561千台

売上高	3兆5,642億円
営業利益(ROS)	823億円(2.3%)
当期純利益	632億円
一株当たり配当	35円
自己資本比率	41.8%

稼ぐ力を向上



ステークホルダー重視

【2023年3月期】

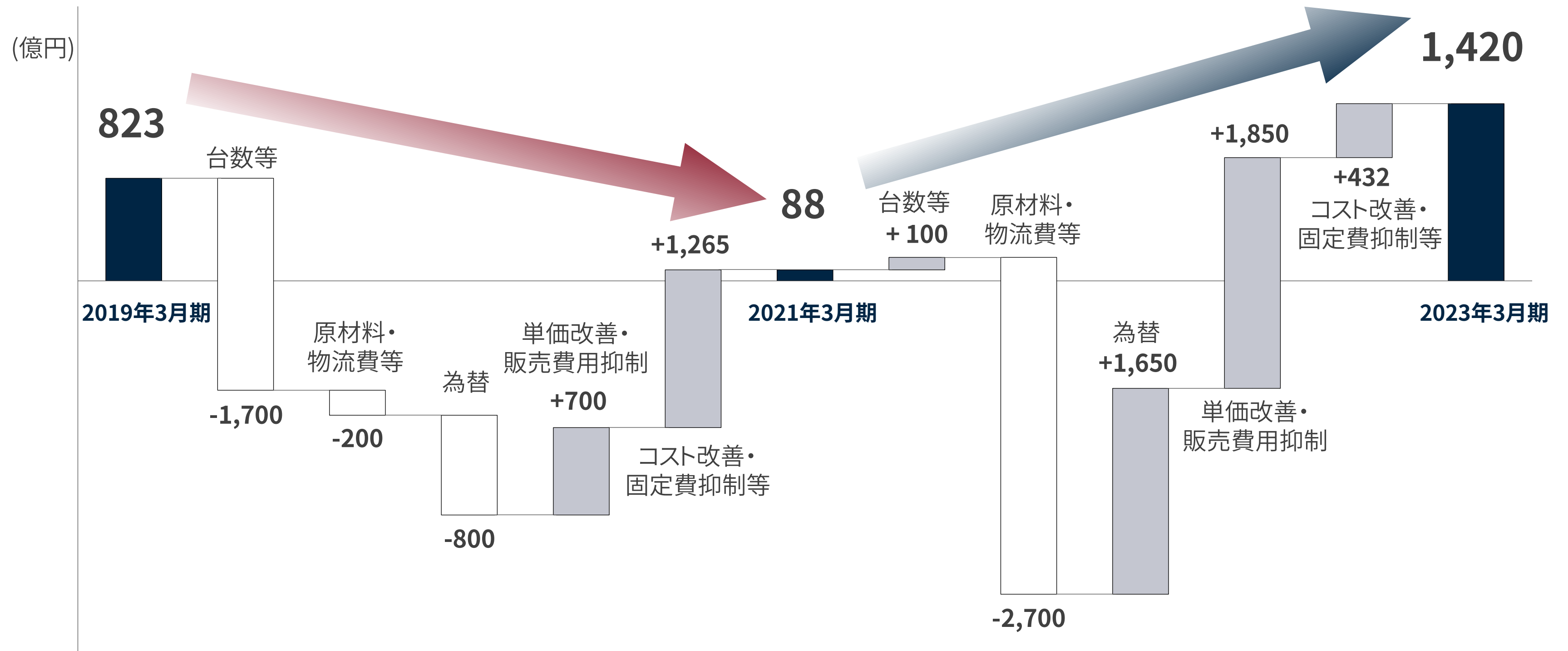
台当たり売上高*	3,612千円
グローバル販売台数	1,110千台

売上高	3兆8,268億円 (過去最高)
営業利益	1,420億円(3.7%)
当期純利益	1,428億円 (過去2番目)
一株当たり配当	45円
自己資本比率	44.2%

5年間の取り組みの総括 2019年3月期以降の営業利益変動要因

- ✓ コロナ禍による需要減・生産影響に加え、円高が進行
- ✓ 販売の質的改善と徹底した固定費抑制により黒字を維持

- ✓ 単価改善・販売費抑制・コスト改善の強化により、原材料・物流費の高騰、半導体不足による生産回復遅れの影響をオフセット
- ✓ 米国のブランド価値浸透による販売増で円安メリットを享受



5年間の取り組みの総括

■米国販売網の再構築による販売の質的改善

➤ 取引価格

2018年26,700ドルから2022年33,700ドルへ約7,000ドル上昇

Source: Power Information Network®

➤ 残価率

【導入時残価率】

CX-90	2023年導入	63%	2位/18車
CX-50	2022年導入	62%	1位/21車
CX-30	2020年導入	61%	1位/22車
CX-5	2017年導入	57%	3位/15車

Source: ALG社データ

➤ 顧客満足度

2018年15位から2022年3位へ大幅に向上

Source: J. D. Power社 CSIデータ

5年間の取り組みの総括

■米国新工場(アラバマ州)稼働



■ラージ商品の開発、導入



MAZDA CX-60



MAZDA CX-90

- BEV商品導入と電動化技術の開発、導入
 - MX-30 EV MODEL、中国向けCX-30 EV
 - PHEV、マイルドハイブリッド、R-EV

- 中期経営計画アップデートと2030年経営方針を公表(2022年11月公表)

2024年3月期 取り組みの方向性と課題

2024年3月期 取り組みの方向性

■新商品、営業で成長を実現

- ビルディングブロックで積み重ねてきた資産を活用し、成長軌道に乗せる重要な一年
- 北米でのCX-90導入、CX-50の供給量拡大と中国でのCX-50生産開始が成長を牽引
- 販売の質の継続と意欲的なグローバル販売台数の達成へ全市場でチャレンジ

■外部環境認識

- 半導体 対応策の進捗で調達安定化へ期待も、引き続き予断を許さない状況
- 物流 輸送船需給の逼迫が継続する想定
- 為替、原材料 為替は円高方向に推移し、原材料高騰は継続すると想定
- 海外市場動向 米国：自動車に関して、前半期は景気減速の影響は限定的
中国：経済の好転を見通すが、新エネルギー車の成長が加速



オペレーションのスピード、透明性と規律を上げ、経営環境の変化に迅速に対応

2024年3月期 取り組み課題

1. 台当たり売上高の向上
2. 電動化商品の市場導入
3. 電動化に向けたパートナーシップの構築
4. 原価低減活動の全社推進
5. カーボンニュートラルへの取り組み

1. 台当たり売上高の向上

- 米国へ4月から本格導入のCX-90の成功
 - お客さまの声を反映して、商品力を育成。公開当初からお客さま、ディーラーから高い評価を獲得
 - CX-90 の残価はセグメントでトップクラス
 - PHEVなどの電動化技術を本格的に導入
- 米国アラバマ工場の2直化によるCX-50の供給量拡大
- 中国でCX-50の生産を開始し、本格販売



MAZDA CX-90



MAZDA CX-50(中国仕様)

▼

CX-5、CX-50、ラージ商品の販売構成を高め、台当たり売上高も高めていく

2. 電動化商品の市場導入

- マルチ電動化技術を活用し、PHEVやマイルドハイブリッドをラージ商品へ導入拡大
- MX-30 e-SKYACTIV R-EVを日欧に導入

3. 電動化に向けたパートナーシップの構築

- 電動化技術開発、電池調達、CO₂低減のための取り組み継続
- 2030年経営方針で示したPhase 2(2025～2027年)以降の電動化トランジションの着実な準備

4. 原価低減活動の全社推進

- CFOリードのもと、各領域を統括/担当する執行役員をコスト革新担当に任命*
- サプライチェーン、バリューチェーン全体をスコープに、ムリ・ムラ・ムダを徹底的に排除

*6月の株主総会以降

5. カーボンニュートラルへの取り組み

- カーボンニュートラル(CN)実現に向け、以下の考え方のもと、目標と取り組みロードマップを具体化し、取り組みを加速させる
 - 炭素の排出をあらゆる手段と技術で、足元から可能な限り低減
 - マルチ電動化技術を搭載した商品の市場導入に加え、既販車も含めたCO₂排出低減に貢献できるCN燃料の開発や利用拡大など、多様な技術の開発と社会実装を推進
 - 再エネ電力供給などのインフラの整備状況を踏まえ、脱炭素が実現できる取り組みとその社会実装の推進

5. カーボンニュートラルへの取り組み

- 事業領域では、省エネ、再エネ、CN燃料活用を推進し、自社のグローバルCO₂排出量を削減（SCOPE1-2）
 - 2021年度CO₂排出量を2013年度比で約3割削減
 - 再エネ、CN燃料活用におけるパートナーの皆さまと、エネルギーサプライチェーン全体の取り組みを具体化
 - 中国地域カーボンニュートラル推進協議会の活動に基づく、地域での再エネ事業拡大
 - ・ 太陽光発電によるオフサイトコーポレートPPAの締結
 - CN燃料の「つくる・はこぶ・ためる」サプライチェーン構築による、化石燃料の使用量低減
 - ・ ユーグレナ様との提携によるバイオ燃料製造事業への協力
 - ・ 次世代グリーンCO₂燃料技術研究組合への参加
 - ・ 波方ターミナルを拠点とした燃料アンモニア導入・利活用協議会の設置



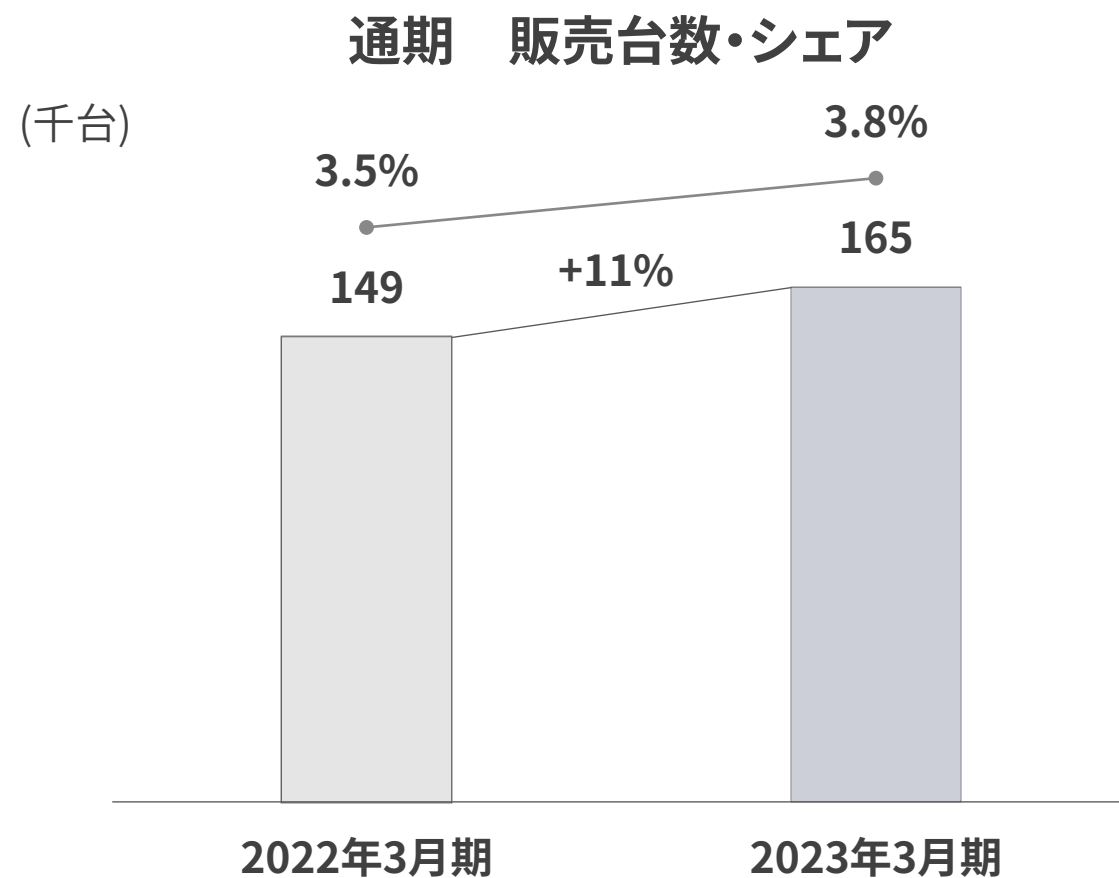
mazda

添付

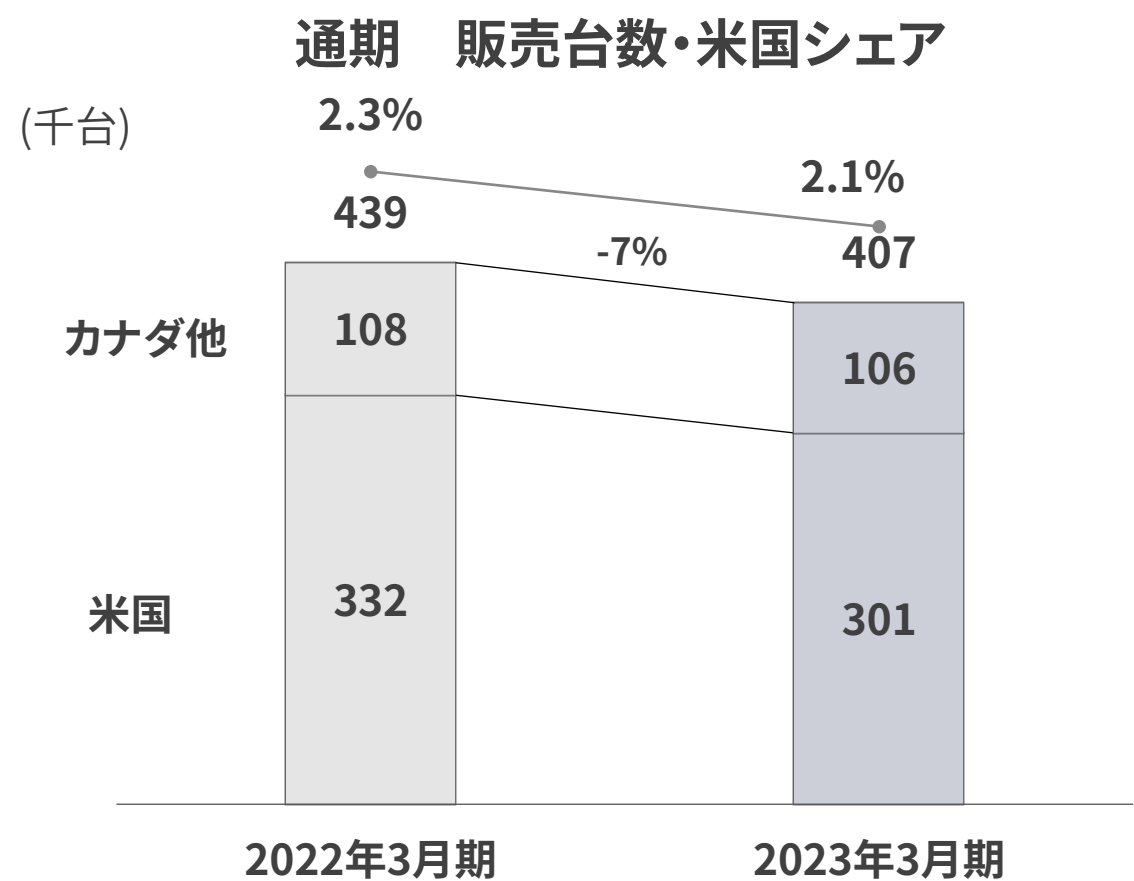
日本



- 第4四半期3か月間の販売台数は対前年6%増、2Q、3Qに続き前年を上回る販売を継続
- 通期販売台数は、対前年11%増の16万5千台、シェアは対前年0.3pts増の3.8%、登録車シェアは同0.4pts増の4.9%
- 新商品のCX-60に加えて、CX-5とロードスターが対前年で販売台数およびシェアの増加を牽引
- CX-60 は9月以降1万7千台を販売



北米



■米国:

- 第4四半期3か月の販売台数は対前年7%増、第3四半期対比でも11%の販売増、販売パフォーマンスは引き続き改善傾向
- 2022年4月より導入したCX-50に加え、CX-30などが販売増に貢献
- 通期販売台数は上期の減産影響などにより対前年9%減、シェアは対前年0.2pts減の2.1%
- 2023年4月より新型クロスオーバーSUV CX-90を販売開始。好調な立ち上がりを見ている

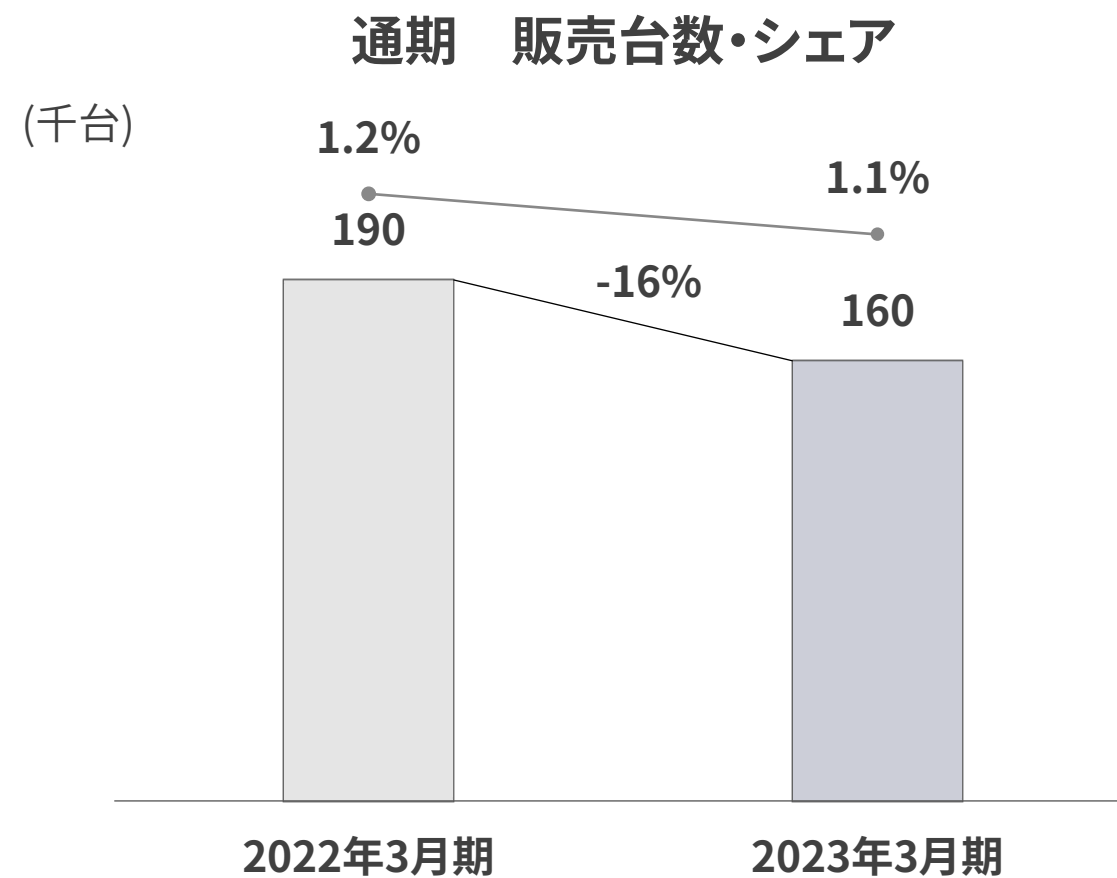
■カナダ:

- 通期は対前年20%減の4万8千台

■メキシコ:

- 通期は対前年23%増の5万6千台
- 好調なMAZDA2・CX-5が販売を牽引

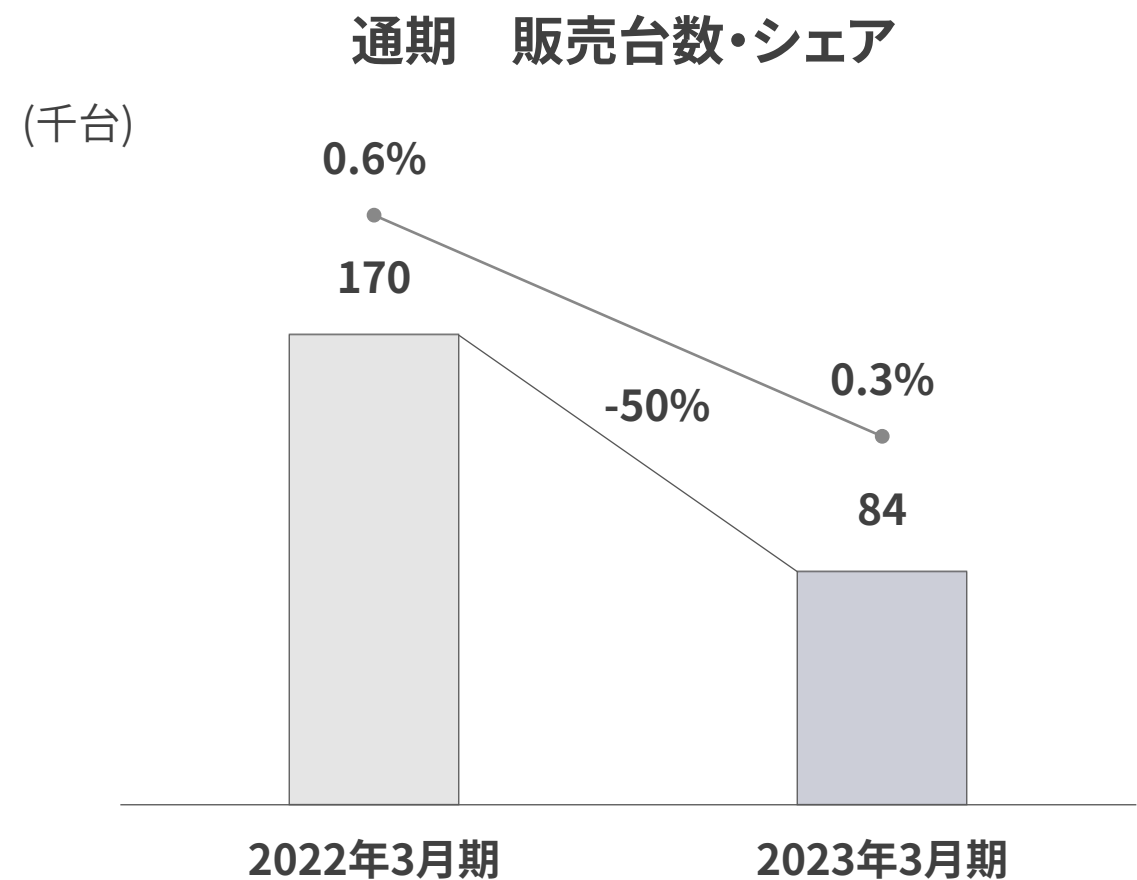
欧州



- 第4四半期3か月間の販売台数は対前年21%増、MAZDA2 HybridやCX-60などの電動化モデルを中心に販売台数が増加
- 通期販売台数は対前年16%減の16万台、シェアは対前年0.1pts減の1.1%
- ロシア/ウクライナの販売減少および上期の減産影響などにより通期では販売台数減少
- CX-60は2022年夏以降2万台を販売
- 主要国の販売(通期)
 - ドイツ:対前年8%減の3万8千台
 - 英国:前年同水準の2万7千台



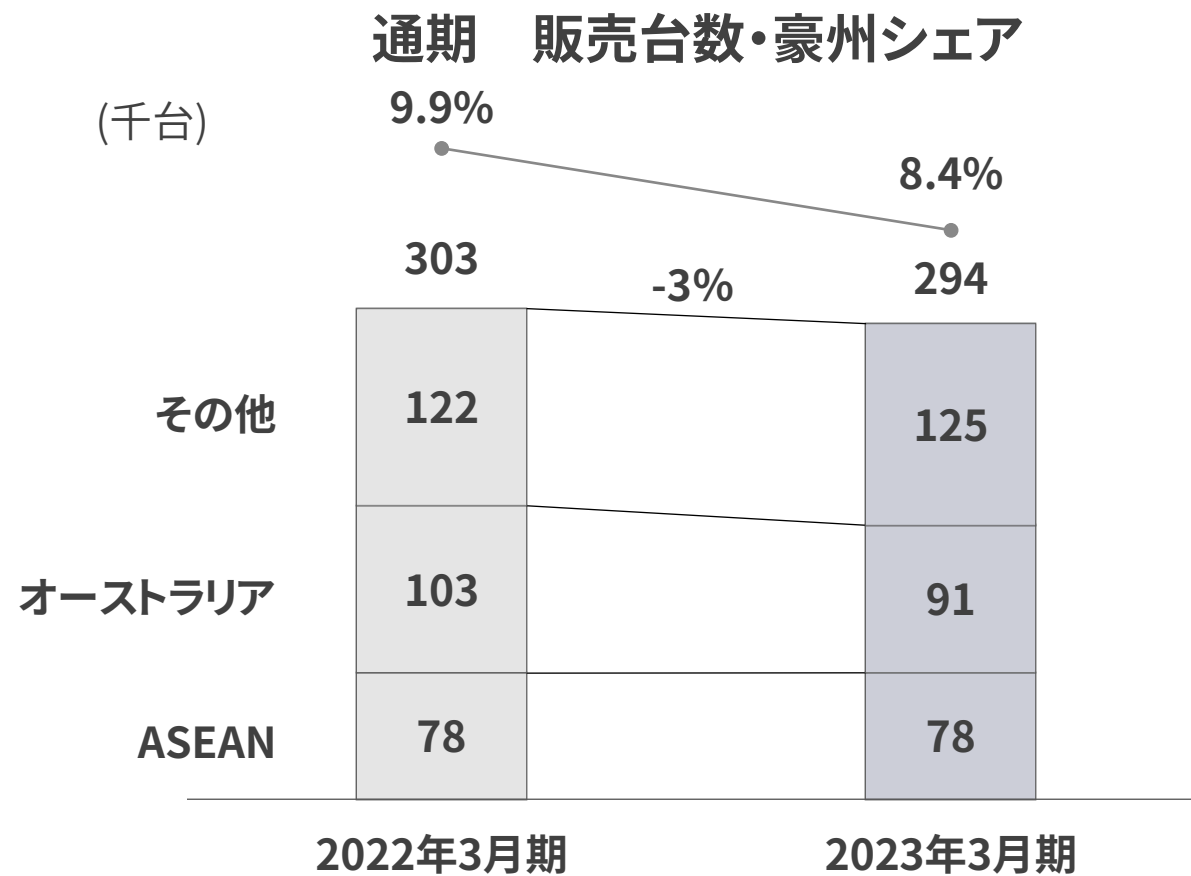
- 第4四半期3か月間の販売台数は対前年66%減
- 通期販売台数は、
対前年50%減の8万4千台、
シェアは対前年0.3pts減の0.3%
- 主要モデルサイクルの一巡に加え、価格競争の激化などにより販売台数が減少
マツダは価格競争とは距離を置き、販売網強化に注力
- 2023年5月にCX-50を導入予定



その他市場

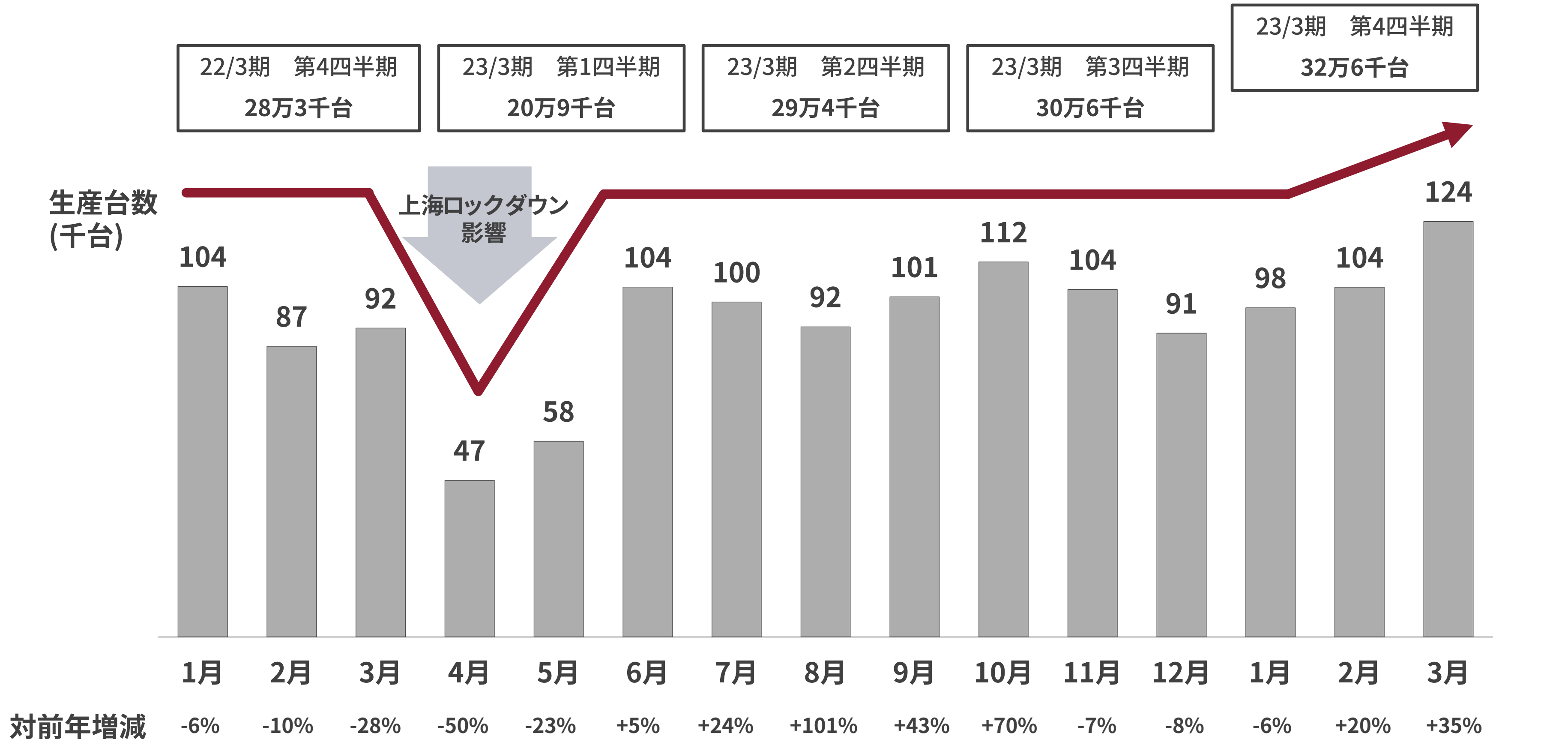


- 第4四半期3か月間の販売台数は対前年8%減
- 通期販売台数は対前年3%減の29万4千台
- オーストラリア:
 - 通期の販売台数は対前年12%減の9万1千台、シェアは対前年1.5pts減の8.4%
 - 第4四半期3か月間の販売台数は対前年15%減。当局の到着車両に対する検疫強化に伴い、物流遅延が発生し、販売に影響



- ASEAN:
 - 通期の販売台数は前年同水準の7万8千台、タイは対前年30%減の2万5千台、ベトナムは対前年26%増の2万9千台

生産台数について



※月次公表ベース(中国を含むグローバル生産台数/OEM受給車両は含まない)

キャッシュ・フロー及びネット・キャッシュ

(億円)	2022年3月期	2023年3月期	対前期末増減
	通期	通期	
営業キャッシュ・フロー	1,892	1,374	-
投資キャッシュ・フロー	-1,362	-994	-
フリー・キャッシュ・フロー	529	380	-
現金及び現金同等物	7,404	7,171	-233
有利子負債	6,808	6,155	-653
ネット・キャッシュ	596	1,016	+420
総資産	29,681	32,593	+2,912
自己資本	13,011	14,396	+1,385
自己資本比率	44 %	44 %	0 pts

2023年3月期 第4四半期 グローバル販売台数及び連結出荷台数(3ヵ月)

(千台)	2022年3月期	2023年3月期
グローバル販売台数	第4四半期	第4四半期
日本	54	57
北米	107	119
欧州	43	52
中国	36	12
その他市場	81	74
合計	321	315
米国	82	88
オーストラリア	30	25
ASEAN	24	16

対前年増減		対2月公表増減
第4四半期		通期
	+3	+6%
✓	+12	+12%
	+9	+21%
	-24	-66%
	-7	-8%
	-6	-2%
	+6	+7%
	-5	-15%
	-8	-33%
		-9
		-15
		-12
		-5
		-13
		-53
		-12
		-4
		-6

連結出荷台数	第4四半期	第4四半期
日本	48	50
北米	121	126
欧州	46	53
その他市場	88	93
合計	303	322
米国	95	93

第4四半期		通期
	+2	+4%
✓	+5	+4%
	+7	+15%
	+5	+6%
	+19	+6%
	-2	-2%
		-4
		-14
		-2
		-8
		-28
		-8

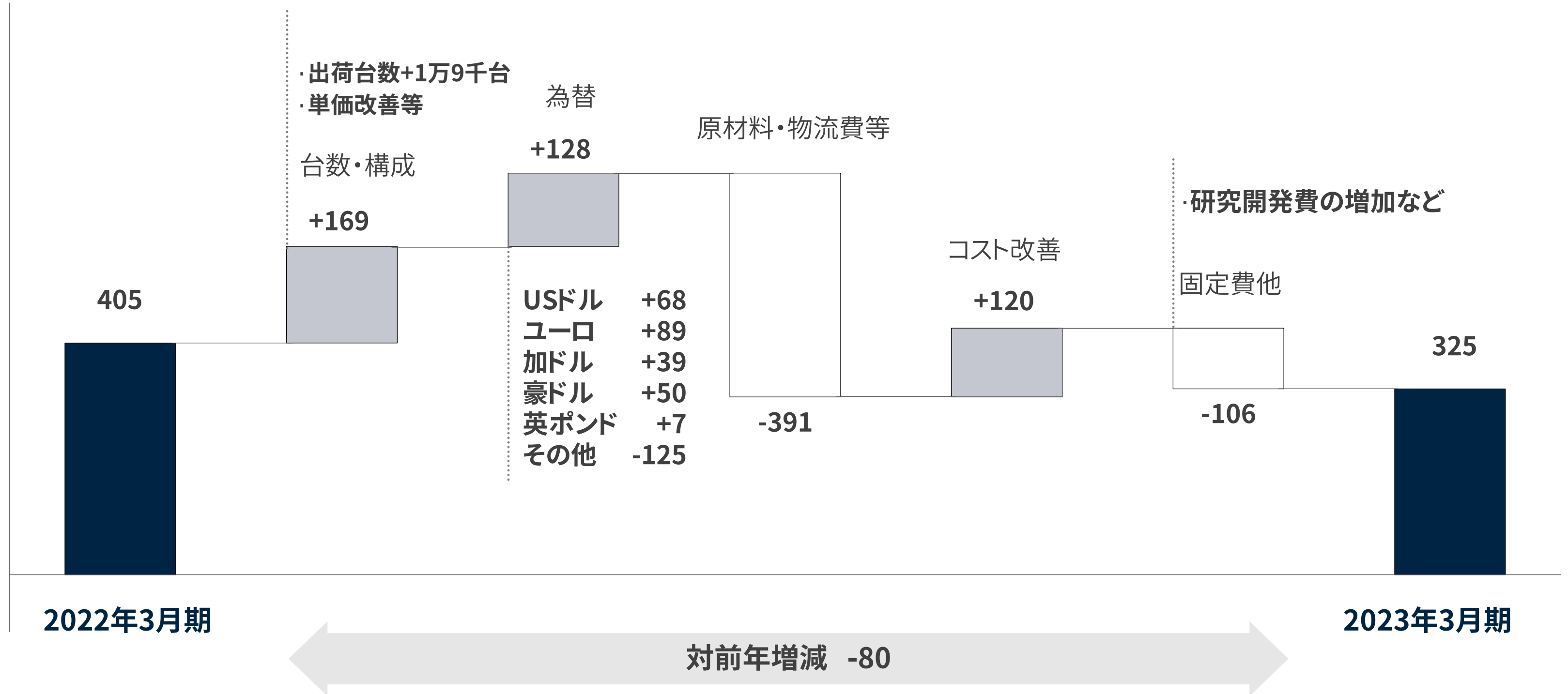
2023年3月期 第4四半期 財務指標(3ヵ月)

(億円)	2022年3月期		2023年3月期		対前年増減	
	第4四半期	第4四半期	第4四半期	第4四半期	第4四半期	第4四半期
売上高	9,579		11,305		+1,726	+18%
営業利益	405		325		-80	-20%
経常利益	639		505		-134	-21%
税引前利益	615		476		-139	-23%
当期純利益	522		392		-130	-25%
売上高営業利益率	4.2 %		2.9 %		-1.3 pts	
EPS (円)	82.8		62.3		-20.5	
為替レート (円)						
USDドル	116		132		+16	
ユーロ	130		142		+12	

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を示す

2023年3月期 第4四半期 営業利益変動要因(対前年比較)

(億円)

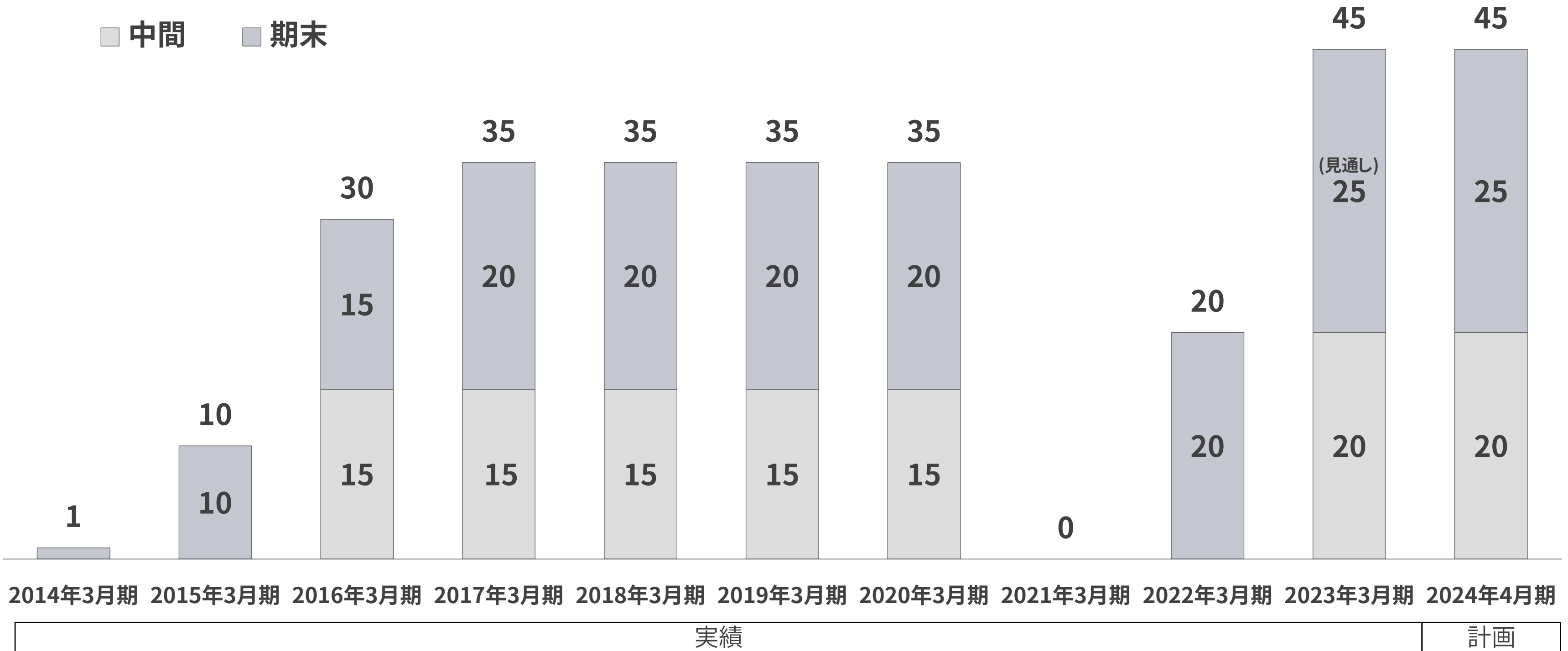


為替レート

(円)	2023年3月期	2024年3月期	対前年増減
	通期	通期	通期
USDドル	136	128	-7
ユーロ	141	139	-2
カナダドル	102	97	-6
オーストラリアドル	93	90	-3
英ポンド	163	160	-4

配当について

一株当たり配当金 (円)



注) 2014年8月1日付で普通株式について5株を1株の割合で株式併合を行っております。
一株当たり配当金は各年度における実際の配当金額を表しています。

将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の見通し及び将来の戦略については、今後の世界経済情勢、業界の動向、為替変動のリスクなど様々な不確定要素が含まれております。従いまして、実際の当社業績は見通しと大きく異なる結果となる場合があることをあらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。当プレゼンテーション資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。